

3. 長崎市包括ケアまちなかラウンジ連携調整会議のご報告

まちなかラウンジでは、在宅医療と介護の連携促進の取組みを充実させるため、在宅医療に関わる14の職能団体から推薦された連携推進委員による連携調整会議を年2回開催しています。令和6年2月27日(火)に開催した会議では、令和5年度のまちなかラウンジの活動報告、認知症基本法の解説、各職能団体の活動報告が行われ、在宅医療・介護連携推進に関する課題の抽出や認知症基本法、今年度実施される診療・介護報酬の改定を踏まえた連携促進の取組み等が検討されました。また、令和7年6月14・15日に出島メッセで開催される「日本在宅医療連合学会全国大会」のお知らせと協力依頼がありました。

まちなかラウンジでは会議の結果を受けて、令和6年度の具体的な事業を計画し実施していきます。

4. 研修会のご報告

在宅医療各種課題検討会③ 入退院支援 『長崎大学病院の入退院支援とその時の ACPについて』

講師: ①長崎大学病院総合支援部
部長 准教授 田浦 直太 先生
②長崎大学病院がん診療センター
緩和部門長 准教授 石井 浩二 先生
座長: 長崎市医師会 山口 達之 先生
日時: 令和6年2月8日(木) 19時00分～20時30分
場所: web開催
参加者: 95名
内容:

田浦先生からは、「長崎大学病院の入退院支援」について講義をしていただきました。

深刻な高齢化で医療費抑制が求められるなか、長崎大学病院では1万8千人強(2022年)の入退院があり、地域医療連携センターでは、毎年2千件を超える転院調整と500件を超える在宅調整をしているということで、その業務内容等を説明していただきました。

また、石井先生からは「長崎大学病院のACPについて」と題し、ACPの重要性や長崎大学病院の取組みについて、事例を交えてわかりやすく紹介していただきました。長崎大学病院では、ACPシートを作成していますが、院内での普及とあじさいネットとの連携を図っているとの説明がありました。

ここで報告した2つの研修動画は、YouTube(限定公開)で視聴することができます。
視聴方法は、次の案内をご覧ください。

在宅医療各種課題検討会④ 看取り 多職種研修会② 『看取りの事例発表会』

講師: ①特別養護老人ホームめざめ 伊藤 朋子 講師
②グループホームふるさと 平戸 京子 講師
③定期巡回・随時対応型訪問介護看護
プライエム横尾 田中 洋充 講師
④訪問看護ステーション横尾 河間 保子 講師
座長: 長崎市医師会 奥平 定之 先生
日時: 令和6年3月15日(金) 19時00分～21時00分
場所: web開催
参加者: 174名
内容:

各事業所から「看取り」への取組みや事例について発表していただきました。

「めざめ」からは、夜間体制、ICTの活用、看取りの流れ、ACPの取組み、看取りケアの実例、各専門職が抱える悩みや課題等の紹介と、よりよいケアをしようとする取組みを説明していただきました。

「ふるさと」からは、「一人ひとりの生活の継続の実現と本人本位の認知症ケア」という理念のもと、地域で暮らす楽しさ・嬉しさ・豊かさを感じてもらうために、多職種や家族だけでなく地域を巻き込んで看取り期まで連携していることと今後取り組んでいかなければいけないことを紹介していただきました。「プライエム横尾」からは、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者3名の事例が紹介され、看護職員の役割として、訪問看護師が多職種連携の基盤となるとの説明がありました。

5. 「長崎市まちなかラウンジ研修動画」YouTube限定公開のご案内

まちなかラウンジでは、令和4・5年度に開催した研修の動画をYouTube(ユーチューブ)で限定公開しています。(YouTubeの「限定公開」は、そのURLを特定の人に共有することで、URLを知っている人だけが動画を視聴することができる機能です。)

視聴をご希望の方は、まちなかラウンジに電話又はメールで動画URLをおたずねください。動画は、講師に承諾を取り、個人情報を守るため一部加工していますので、施設やグループでの研修に使用してもらってかまいませんが、ダウンロードして拡散、公開することのないようお願いします。

長崎市包括ケアまちなかラウンジ

医療・介護の相談受付 在宅医療・介護の連携支援

住所 長崎市江戸町6-5 江戸町センタービル2階

☎ 095-893-6621 FAX 095-826-3021 E-Mail machinnaka@muse.ocn.ne.jp

開設時間 月曜日～土曜日 9:00～17:00 (日曜・祝日・年末年始・8月15日はお休み)